

○第二部最優秀賞 青森県知事賞

窓から見える水田

三条小学校（八戸市）

五年 松谷 百恵（まつや・ももえ）

げん関を開けると、絵にかいたような水田が一面に見える。そんな坂の上に私は引っこしてきました。今まで見たことのないような緑のじゅうたんのような景色に、私は感動しました。

「ごはんだよ。」

と、お母さんが声をかけます。私達は五人きょうだいです。おぼん休みで帰ってきたお兄ちゃんも台所に来ます。お父さんは、もう食べ終わるところです。

「今日の朝ごはんはたまごぶっかけごはん。」

と、お母さんが大きな声で言いました。

「よっしゃー。」

と、中学生のお兄ちゃんが言いました。たきたてのごはんに生たまご。私が一番好きな食べ方です。朝ごはんを食べ終わったお父さんが仕事に出かけます。

お父さんは農業の一年生です。お米や長いも、ごぼう、にんじんなどを作っています。朝早くから出かけるお父さんを見て、大変そうだなと心配になります。私はげん関から見送ります。お父さんを見送ったげん関からは、今日も緑の水田が風にふかれてそよそよと泳いでいるようです。

夜、お父さんが帰ってきて、みんなで夜ごはんです。今日はカレーライス、私も野菜の皮むきを手伝いました。

「今日の仕事はどうだった。」

と、お母さんが聞きます。

「一日中草かり。」

と、お父さんが答えました。私も聞きました。

「お父さん、つかれたでしょ。」

「つかれたよ。でもだいじょうぶ。今年の米はすごく出来がいいってみんなが言っている。秋にはおいしいお米が食べられるよ。」

と、笑顔で答えてくれました。今食べているこのお米もすごくおいしいのに、もっとおいしいお米を食べられると思うとわくわくしてきて、カレーをおかわりしました。お父さんの育てたお米で、お父さんが大好きな焼きおにぎりを秋には作ってあげたいと思います。

私は、今までこれだけ広い水田を見たことがありませんでした。家から見えるこの景色は、私の新しい生活の一部となります。夏休みももう終わり。セミの声も高く鳴りひびいています。夜にはカエルが合唱し、ホタルを見ることもできました。そして、明日もお父さんを見送り、緑のお米のじゅうたんから、元氣をも

らって楽しい一日をすごしたいです。これから稲は、一つぶ一つぶが重くなり、たくさん実をつけて黄金色にかがやくそうです。緑のじゅうたんが黄金色に変わっていく様子を見ることができるのは、うれしいです。農家の人たちが大切に育てたお米は、私の命のみなもととなり、みんなの元気のもとになります。私は今、緑のじゅうたんの稲に、

「がんばって。」

と、心でさげびます。